

2024年2月28日 山王保育園

まだまだ、寒さの厳しい2月末。元気いっぱいな山王保育園 年長さんの子供達と一緒に遺伝について楽しく勉強しました。今回は、保育参観に来ていただいた保護者の方や保育園の先生方にも参加いただき、とても盛り上がりました。

大事なワードは“特徴”です。実験やゲームを始める前に、子ども達には“特徴”を理解してもらうために、模造紙に書かれたキャラクターのいろいろな“特徴”を探して矢印を置いてもらいました。みんなでたくさんの“特徴”を見つけて盛り上がったところで、今回のお勉強のスタートです。

PTU の味

PTU の試薬をしみこませた細長い紙を舐めて、味がする、しないの特徴をみていきます。まずは、紙の味と PTU の味を区別しやすくするために、味のしない紙を舐めてもらいました。次に、PTU をしみこませた紙を配ると、子ども達は恐る恐る紙を舐めて、「うわ、苦い！」と顔をしかめる子もいれば、「味しないよ～」という子もいました。

子どもでも大人でも、味がした人としなかった人がいました。味がする、味がしないということも“特徴”の一つであることを学びました。

遺伝の木

みんなの体の特徴を観察します。『巻き舌はできる？できない？』『二重まぶた？一重まぶた？』『指の毛はある？ない？』など、鏡やルーペを使ってお友達や保護者の方と一緒に見せ合いっこをしました。



お友達や保護者の方と同じ特徴もあれば、違う特徴もあることに気づくことができました。

また、自分の似顔絵が描かれたシートに、自分の特徴を表したシールを貼って、自分の特徴が花びらになった“わたしのお花”を作りました。

そして、“わたしのお花”を“遺伝の木”に貼りました。木の枝分かれている部分に特徴が示されており、みんなは木の根本から枝に向かって、自分の特徴が示されている方向に進み、行き着いた枝先にお花を貼ります。

大きな、大きな遺伝の木に立って自分の特徴を確認しながら、たくさんの枝にきれいなお花が咲きました。





特徴ゲーム

次は、みんなの特徴がたくさん咲いている遺伝の木を使って特徴ゲームをします。このゲームは、同じ枝の特徴でお花を咲かせたお友達同士みんなで手を繋いでスタートです。“わたしのお花”を見ながら、自分と同じ特徴がある人/ない人で分かれて手をつなぎます。繰り返して、手を繋ぐお友達がなくなったらゴールです。みんな、一生懸命に自分とお友達の特徴を確認しながらゲームをしていました。このゲームを通して、1人1人、持っている特徴が違うことを学びました。

おわりに

最後に、みんなで“特徴”についておさらいをしました。

今回、子どもたちだけでなく保護者の方々にもご参加を頂き、楽しみながら遺伝について学んでもらいました。私たちも、皆さんと共に楽しく学習を深めることができ、嬉しく思います。全ての人が、お父さんとお母さんから生まれてきた大切な命です。「世界にただ一人の存在」であり、「みんな大切な人」です。それぞれの“特徴”を尊重し合える社会になるよう、この遺伝講座が子ども達のお役に立てることを願っております。

参加をしてくれたみなさん、ありがとうございました。

文責：遺伝看護・遺伝カウンセリングコース1年 井手尾里美 田崎千尋